

2012年9月議会一般質問要旨

日本共産党市議会議員団 風間 ルミ子

1・TPP交渉に関連して

(1) 「交渉においては交渉当事国が対等の立場で交渉を行うことが筋である。それができない TPP 交渉は世界史上まれにみる非民主的かつ制限的なスキームである。」との指摘について見解を伺う。

(2) TPP は実質日米 FTA と言える。「アメリカ丸儲けの米韓 FTA からなぜ日本は学ばないのか」との指摘があるが見解を伺う。

(3) 市長は TPP 参加により各分野への影響が具体的に、とりわけ農業分野への影響がどの程度見込まれるのか、それにたいして国がどのような対策を講じていくのかなど、十分な情報提供をするべきだと議会答弁の中で述べているが、交渉内容は4年間明らかにされないことになっている。国民に何も知らされない中で正しい判断はできないと考えるがどうか。

(4) 1980年代以降日米構造協議に基づく大店法の規制緩和、外国製品の参入障壁の廃止などによって、地域住民の日常生活を支えてきた多くの中小業者が廃業に追い込まれた。TPP はさらに自由化、規制緩和を進めよということ。一層商店街の衰退が進むと考えるがどうか。

(5) 新潟市農業構想について

ア TPP 参加となった場合、何も講じなければ新潟市の食料自給率70%目標の達成は困難としているが、目標達成の具体的な手立てはあるのか。

イ 新潟市農業構想は平成26年までの目標となっているが、その後の計画についてどのように考えているのか。

(6) 世界的な天候不順、人口増加は食糧安全保障を脅かす。食はいのちの源、食料自給率向上こそ日本がすすむべき道。そのためにも TPP 参加反対を明言すべきではないか。

2・いじめについて

(1) 大津市教育委員会の対応についての見解を伺う。

(2) 新潟市におけるいじめの実態、及びその背景についてどのように認識しているか、また、教職員と児童生徒の信頼関係づくりをどのように見直そうとしているのか。

(3) 新潟市は子どもの権利条約を教育活動の中でどのように生かしているのか。

(4) 教育委員会や学校現場での隠ぺい体質が問題を大きくしているとされている。その背景に学校評価制度があるのではないか。

(5) いじめの発生を見落とさないためにも教師が子どもたちとじっくり向き合う時間を保障することが重要である。市費でも教員を増やし、義務教育全学年で少人数指導が実現できる体制づくりに積極的に取り組むべきではないか。

3・調整池について

- (1) 調整池の役割をどのように認識しているか。
- (2) 十分な予算を確保し調整池の適切な維持管理を行うべき。特に住宅地にある調整池については除草回数を増やすなど、良好な生活環境確保のための配慮が必要ではないか。

4・県道の道路改良・維持補修等の取り組み方針について

- (1) 政令市移行に伴い市の管理となった県道について、県から引き継いだ事業の進捗状況並びに新規路線の今後の見通しはどうか。
- (2) 引き継ぎ事業以外の県道でも、維持補修や道路改良は必要である。現在の時点で特に市民生活に密着した道路の改良や橋梁の架け替えなどが必要と検討しているところは何か所くらいあるのか。また、その整備の見通しはどうか。
- (3) 基本的な県道整備の方針を伺う。